

次代を担う学生に海運について紹介

～ 東京海洋大学海洋工学部 2 年生対象の本船見学会・神戸大学海事科学部
1 年生対象の講演会・神戸大学海事科学部オープンキャンパスについて ～

当協会は、2008 年 7 月に人材確保タスクフォースを設置し、船員教育機関(大学、高専、海事教育機構)とも連携しつつ、優秀な日本人船員(海技者)確保のための様々な広報活動等を展開している。

その一環として、この度、次の事業を実施した。

1. 東京海洋大学海洋工学部 2 年生を対象とした本船見学会

東京ガス及び商船三井のご協力の下、当協会は 2011 年 7 月 22 日、東京ガス扇島工場(神奈川県横浜市鶴見区)で東京海洋大学海洋工学部の 2 年生を対象とした「本船見学会」を開催し、学生 13 名が同工場で荷役中の商船三井 LNG 船「LNG VESTA」を見学した。

当日は、LNG VESTA の船長から同船の航海・荷役の概要について説明された後、ブリッジや機関室等を見学し、同行した商船三井 星野重之 人事第二グループアシスタントマネージャー(一等機関士)から船内各設備について説明を受けた。

今回の見学会に参加した学生は、いずれも商船の内部を实际見たのは初めてで、巨大なエンジンやブリッジの航海機器、LNG 船特有の設備に大きな関心を示していた。



学生が見学した商船三井「LNG VESTA」

2. 神戸大学海事科学部 1 年生を対象とした講演会

当協会は 2011 年 8 月 5 日、神戸大学海事科学部(深江キャンパス)において、同学部 1 年生の「海・船に親しむ」の授業(2 限目・3 限目)の一環として、「海運産業と船舶職員の仕事について」と題して講演会を実施した。

講演会では、まず、日本郵船の御厨研一等航海士から、海運産業の概要やその重要性、船内業務の概要について説明があった。



講演風景



学生からの質問に対応

続いて、学生と年齢の近い日本郵船の高橋隆義二等機関士、第一中央汽船の関口裕哉二

等航海士、商船三井の松下匡規三等機関士、川崎汽船の大山智貴三等機関士が、海技者を志した理由や本船でのこれまでの業務体験等について、学生に近い目線から講演を行い、参加した学生は各講師の話に真剣に耳を傾けていた。

3. 神戸大学海事科学部オープンキャンパスへの協力

神戸大学は2011年8月8日、同大深江キャンパスで、高校生とその保護者を対象に海事科学部のオープンキャンパスを開催し、当協会もこれに協力した。

当協会は、同オープンキャンパスの「学部説明会」で、海運産業や海技者の仕事について講演する機会を得たことから、神戸大学海事科学部前身の神戸商船大学OBでもある川崎汽船の細見岳良船長が講演を行った。

学部説明会には、午前・午後の部合わせて300名程度の高校生とその保護者が参加、細見船長の講演では、海運業の重要性や海技者の業務について説明するとともに、自身が海技者の道を志した理由等についても紹介した。

また、当日は同学部が入試や学生生活、卒業後の進路等について相談を受けるべく設置した「相談コーナー」に、当協会のブースが設けられ、海運業界や海技者に関する質問に対応した。



学部説明会での講演風景



高校生からの相談に対応する細見船長